資料１

新しい福島県総合計画 中間整理案（案）
【概要版】

企　画　調　整　部
平成２１年７月

【目次】

はじめに	１
第１章 ふくしまの特性と時代潮流	２
第２章 ふくしまのめざす将来の姿	３
第３章 ふくしまの基本方向	６
第４章 基本方向の実現方策	６
第５章 政策分野別の重点施策	７
第６章 地域別の重点施策	１０
【参考】計画策定スケジュール	１１

はじめに

1　計画策定の趣旨

人口減少、超高齢社会の本格的な到来など、長期的な時代潮流を踏まえつつ、急激な社会情勢の変化にも柔軟に対応して施策展開を図ることにより、豊かなふくしまをつくっていくために、新しい総合計画を策定することとしました。

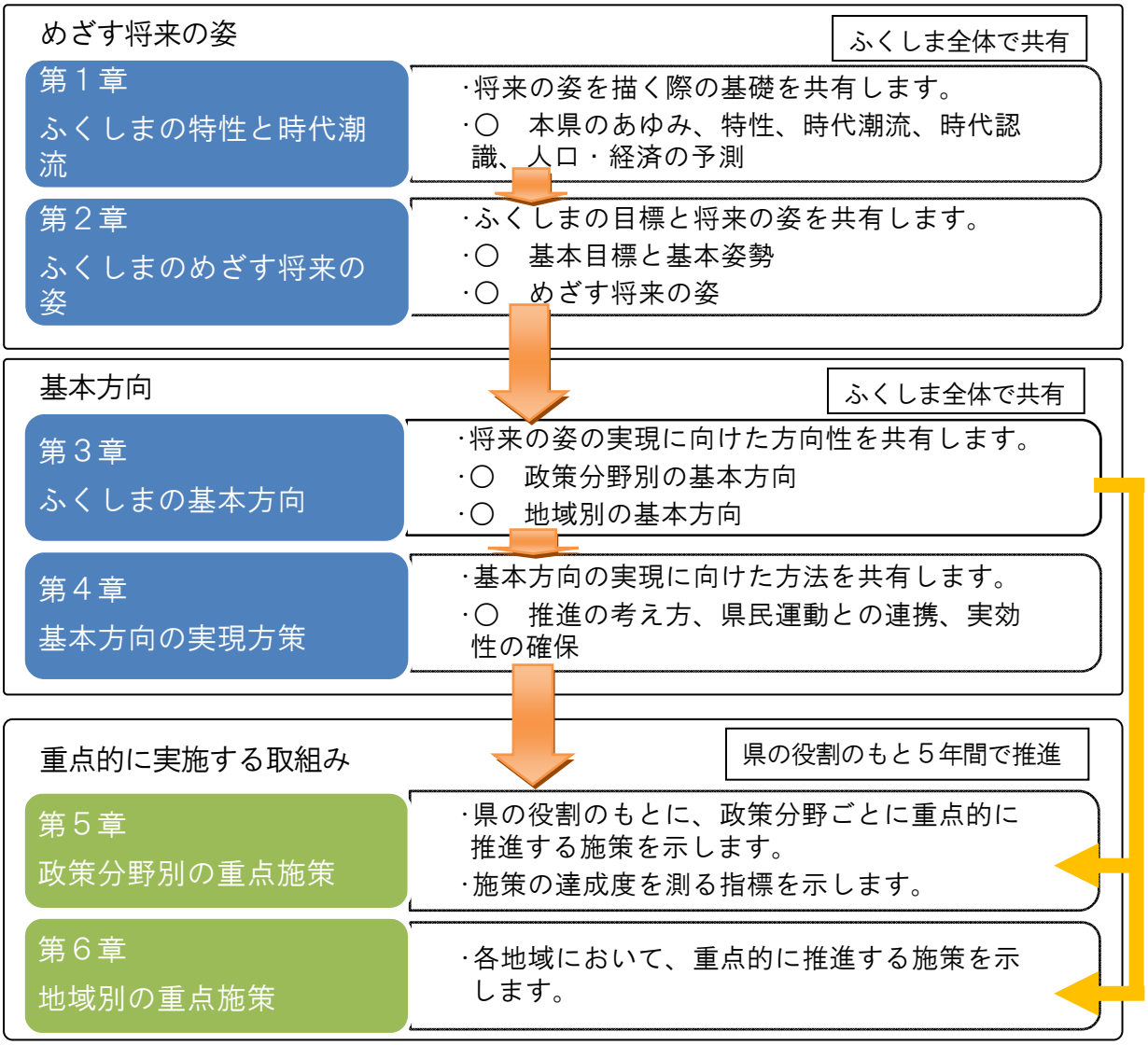
2　計画期間

30 年程度先を展望しながら、平成 22(2010)年度を初年度とし、平成 26 年(2014)年度を目標年度とする５か年計画です。

3　計画の特徴

① ふくしま全体の指針となる計画
② 長期的視点での県づくり、柔軟な施策展開が可能となる計画
③ わかりやすい計画（部門別計画との役割分担、優先的に行う施策の明確化、地域別施策の明示）
④ 実効性を重視した計画（指標を活用した進行管理）

4　計画の構成



第１章 ふくしまの特性と時代潮流

本章では、まず、「ふくしまのあゆみ」として、本県の歴史を踏まえた後、「ふくしまの特性」を整理します。次に、時代潮流を長期的に展望し、そこから今後重要になる視点を「時代認識」として整理します。

ふくしまのあゆみ

〇多様な文化、多極分散型の県土となった歴史的背景

〇多くの先人の努力により、今の姿へ

ふくしまの特性（魅力）

〇豊かな地域資源　〇多様性

〇つながり　〇ゆとり

時代潮流

〇人口減少・超高齢社会の本格的な到来

〇経済のグローバル化の進展

〇食料・資源・エネルギー問題の顕在化

〇地球温暖化をはじめとする環境問題の深刻化

〇情報通信技術（高度情報化社会）の進展

〇ライフスタイル・価値観の多様化

〇安全と安心に対する関心の高まり

〇分権型社会への移行

ふくしまの人口と経済の展望

〇人口の見通し

《総人口》

H26　1,974 千人程度

H47　1,610 千人程度

〇経済の見通し

《県内総生産（名目）》

H26　7.8～8.0 兆円程度

H47　8.6～9.0 兆円程度

ふくしまの魅力を再認識し、伸ばすことが、長期的な観点から重要

全体を通し、見出せる視点

時代認識（今後重要となる視点）

・多様性の尊重

・つながり・支え合いの重要性

・次世代への責務の高まり

・心の豊かさ、自己実現に対する意識の高まり

・安全と安心に対する関心の高まり

・独自性や付加価値の高い産業の重要性

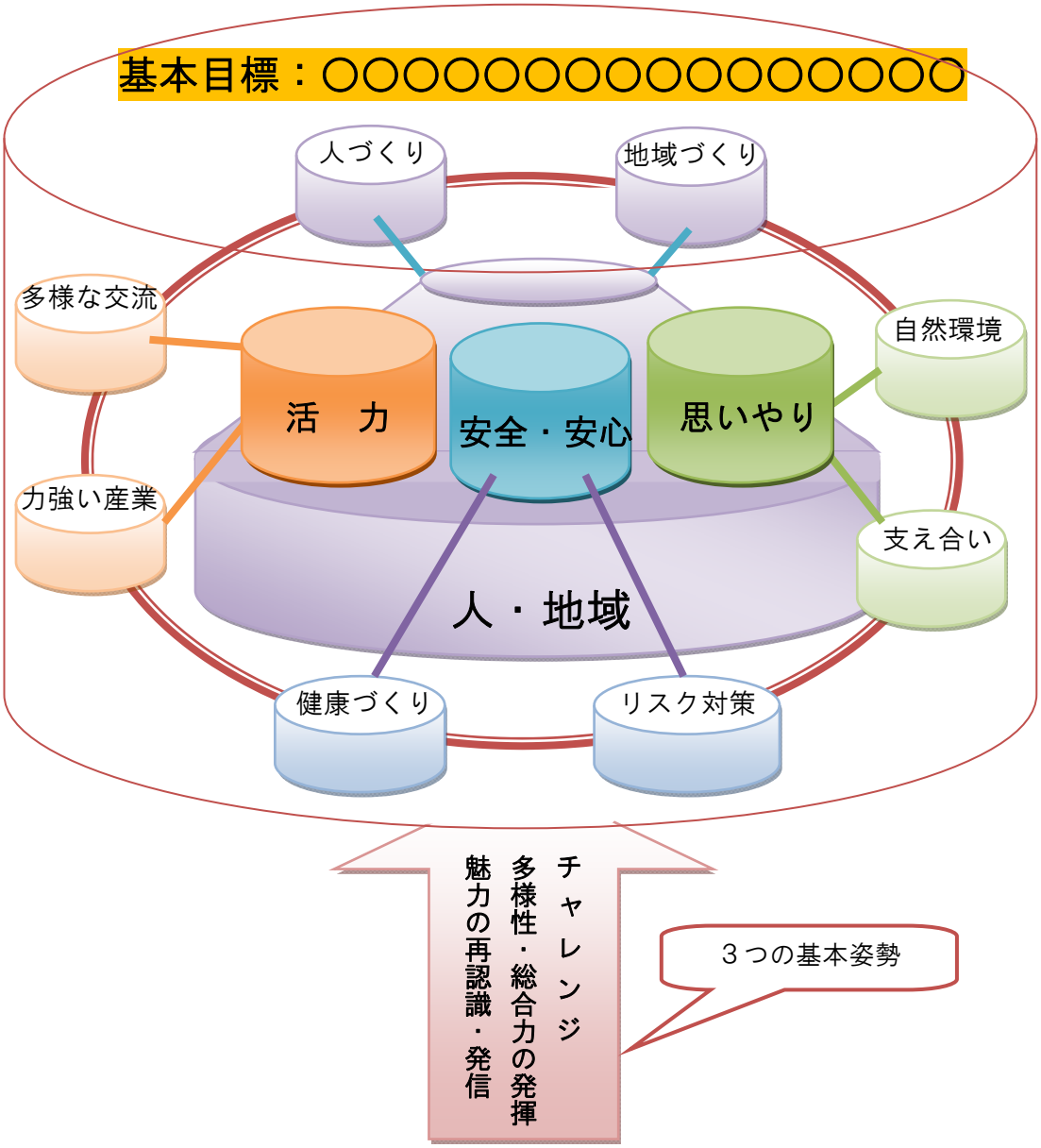
・環境や自然と共生する産業の重要性

次章

めざす将来の姿へ

第２章　ふくしまのめざす将来の姿

本章では、前章のふくしまの特性（魅力）や時代認識を踏まえて、「基本目標」、「基本姿勢」、「めざす将来の姿」を示します。



めざす将来の姿

県づくりの根幹であり基本となる「人と地域が輝く『ふくしま』」を「ふくしまの礎（いしずえ）」として位置づけ、「ふくしまを支える柱」として「いきいきとして活力に満ちた『ふくしま』」「安全と安心に支えられた『ふくしま』」「人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』」の３つを置いて、３０年程度先を展望し実現を目指す「めざす将来の姿」を描きます。

【 ふ く し ま の 礎 】

人と地域が輝く「ふくしま」

ふくしまの未来を築いていく上で根幹となるのは、「人」であり、「地域」です。
活力に満ち、安全と安心に支えられ、思いやりにあふれた豊かな「ふくしま」としていく上では、長期的な観点から、人づくり、地域づくりを行っていくことが極めて重要となることから、「人と地域が輝く『ふくしま』」を「めざす将来の姿」の礎（いしずえ）として掲げます。

将来のふくしまでは、子どもたちが心豊かにたくましく育つとともに、県民一人ひとりが持つ能力や可能性を開花させるためのさまざまな「場」が用意され、誰もが、地域や人と人とのつながりによる安心感と自己実現できることによる達成感を覚えています。
また、地域団体、ＮＰＯ、企業など多様な主体と連携しながら、地域住民による主体的な地域づくりが行われ、分権型社会に対応できるようになっているとともに、過疎・中山間地域などを含めて、それぞれの地域の特色を十分に発揮されることによって、県全体がいきいきとした輝きを放っています。

ふくしまを支える３本の柱

【柱Ⅰ】いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

人口減少･超高齢社会の本格的な到来、経済のグローバル化の進展などが予測される中、人、モノ、情報の交流を活発にし、県民の生活を豊かに支える経済的な基盤を確かなものとしていくことがこれまで以上に重要となることから、「めざす将来の姿」にふくしまを支える柱の１つめとして、「いきいきとして活力に満ちた『ふくしま』」を掲げます。

将来のふくしまでは、県内外さらには海外との多様な交流ネットワークや東北圏と首都圏の結節点に位置する地理的な優位性などに支えられながら、世代や性別を超えて人々が知恵と力を出し合い、安全で多彩な食材を生み出す農林水産業や力強い製造業をはじめとした本県に存在する多様な産業、資源そして知恵がつなぎ合わされることによって、付加価値の高い産業が躍動するとともに、県内外や海外との交流の拡大によって、人やモノの多様なつながりが生まれています。

【柱Ⅱ】安全と安心に支えられた「ふくしま」

人口減少、超高齢社会の本格的な到来によって、人々の健康や介護などに対するさまざまな不安が高まっているとともに、自然災害などのさまざまなリスクにより私たちの生活が脅かされるおそれがあります。

安全と安心は人々の生活を支える基礎となるものであり、人々の関心や重要性が高まっていることから、「めざす将来の姿」にふくしまを支える柱の２つ目として、「安全と安心に支えられた『ふくしま』」として掲げます。

将来のふくしまでは、本県が有する温かい地域のきずなや世代を超えたつながりに支えられながら、保健・医療・福祉サービスが充実し、生涯を通じて健康でいきいきと過ごすことができ、生活のあらゆる場面において、必要な備えと情報共有がなされ、安全と安心に支えられた快適な暮らしができるようになっています。

【柱Ⅲ】人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

私たちの生活や環境は、今まで以上に、自分たちを取り巻く地域だけではなく、県外、そして世界と深くつながるようになり、私たちの行動が、日本、世界、さらに未来に影響を及ぼすことを意識していくことが大切になります。

こうした中では、身近な人に対する「思いやり」と同様に、さらに広く、そして遠い未来の人や出来事に考えを及ばせるという、広範で長期的な視点による「思いやり」の心を持つことが強く求められることから、「めざす将来の姿」にふくしまの将来を支える柱の３つ目として「人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』」を掲げます。

将来のふくしまでは、県民一人ひとりが周りの人々や県外、海外さらには次の世代への「思いやり」を大切にし、本県に息づいている地域社会のきずなを基礎としながら、お互いに支え合い、責任を持って行動することで、一人ひとりが大切にされる社会となるとともに、自然環境が次の世代に美しい姿で引き継がれています。

第３章 ふくしまの基本方向

本章では、前章の基本目標等を踏まえ、めざす将来の姿の実現に向けて、さまざまな主体が力を合わせて、取り組んでいく方向性について、課題を明らかにしながら、「政策分野別の基本方向」として示します。

また、生活圏を単位とした地域別の方向性についても、「地域別の基本方向」として示します。

政策分野別の基本方向

ふくしまの礎

「人と地域が輝く『ふくしま』の実現のために

礎-1 子どもから大人まで一人ひとりの輝きが見いだせる社会の実現

礎-2 魅力と個性にあふれた地域社会の実現

ふくしまを支える３本の柱

「いきいきとして活力に満ちた『ふくしま』」の実現のために

Ⅰ-１
地域に根ざした力強い産業の育成

Ⅰ-２
多様な交流ネットワークの形成

「安全と安心に支えられた『ふくしま』」の実現のために

Ⅱ-１
だれもが健康で安心して暮らせる社会づくり

Ⅱ-２
さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現

「人にも自然にも思いやりにあふれた『ふくしま』」の実現のために

Ⅲ-１
支え合いの心が息づく社会の形成

Ⅲ-２
美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

地域別の基本方向

- 個性ある七つの生活圏に基づいた地域づくり
- 生活圏を越えた機能の補完、連携
- 県内外を含む隣接・近接地域間の広域連携

第５章
政策分野別の重点施策へ

第６章
地域別の重点施策へ

第４章 基本方向の実現方策

本章では、「めざす将来の姿」の実現のために、県民、市町村、県など、ふくしまで活動する多様な主体の役割や、県の姿勢を明確にするとともに、計画の実効性を確保するための取組みについて示します。

計画推進に当たっての考え方	・県民に期待する役割　・市町村に期待する役割 ・県の役割と姿勢
県民運動の展開	・新“うつくしま、ふくしま。”県民運動の展開
実効性の確保	・重点施策による計画の推進　・部局間連携の推進 ・計画の進行管理　・柔軟かつ機敏な対応

第５章 政策分野別の重点施策

本章においては、第３章「ふくしまの基本方向」を受け、各政策分野の基本方向の実現のために、さまざまな主体と連携しつつ、県がその役割のもと重点的に取り組む事項を「政策分野別の重点施策」として示します。

【礎】人と地域	礎-１ 子どもから大人まで一人ひとりの輝きが見いだせる社会の実現	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現 (2)人々がはつらつとして活躍する社会の実現 (3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり
	礎-２ 魅力と個性にあふれた地域社会の実現	(1)力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応 (2)地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域 (3)個性的で活力に満ちた電源立地地域
【柱Ⅰ】活力	Ⅰ-１ 地域に根ざした力強い産業の育成	(1)力強い産業の多彩な展開 (2)農林水産業の持つ底力の発揮 (3)産業を支える多彩な人々の活躍
	Ⅰ-２ 多様な交流ネットワークの形成	(1)多様な地域との交流・連携と定住・二地域居住の推進 (2)国内外の観光と国際交流の拡大 (3)交流と連携強化のための基盤づくりと活用
【柱Ⅱ】安全と安心	Ⅱ-１ だれもが健康で安心して暮らせる社会づくり	(1)生涯を通じた健康づくりの展開 (2)安心できる地域医療体制の充実 (3)高齢者や障がい者に対する多様な福祉サービスの充実
	Ⅱ-２ さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現	(1)身の回りの安全と安心の確保 (2)災害など不測の事態に対する備えの充実 (3)安全で安心な生活を支える社会基盤の提供
【柱Ⅲ】思いやり	Ⅲ-１ 支え合いの心が息づく社会の形成	(1)多様な人々がともに生きる社会の形成 (2)思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現
	Ⅲ-２ 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現	(1)美しい自然環境の継承 (2)環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換

重点施策の体系

ふくしまの礎

【礎】 人と地域が輝く「ふくしま」

1 子どもから大人まで一人ひとりの輝きが見いだせる社会の実現		
	(1)子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現	
		①子どもを生み育てやすい環境づくり
		②豊かなこころ、健やかな体の育成
		③確かな学力の育成とキャリア教育の推進
	(2)人々がはつらつとして活躍する社会の実現	
		①さまざまな知恵の活用や新たな就業・起業へのチャレンジに対する支援
		②男女共同参画社会の形成
		③高齢者の生きがいづくり
	(3)文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり	
		①文化・スポーツの振興による活躍できる場づくり
		②生涯学習の環境づくりを通じた自己実現の支援
2 魅力と個性にあふれた地域社会の実現		
	(1)力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応	
		①都市と農山漁村との連携による魅力あるまちづくり
		②地域住民や地域団体、NPO、企業等による地域活動の支援
		③住民に身近な市町村を中心とした地域づくりの支援
	(2)地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域	
		①過疎・中山間地域の活力を支える地域力の育成
		②地域特性を生かした働く場と収入の確保
		③安全に安心して暮らせる生活環境づくり
	(3)個性的で活力に満ちた電源立地地域	
		①電気のふるさとの特色ある地域づくりの推進
		②地域の特性を生かした産業の集積

ふくしまを支える３つの柱

【柱Ⅰ】 いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

1 地域に根ざした力強い産業の育成		
	(1)力強い産業の多彩な展開	
		①産業クラスターの形成など層の厚い産業の集積
		②県内企業の技術革新、知的財産活用による競争力・収益力の強化
		③商業、IT産業・観光産業などサービス産業の強化
		④ものづくり産業と商業・サービス産業等との連携強化による県内産業の総合力の向上
	(2)農林水産業の持つ底力の発揮	
		①生産者と消費者のきずなの構築
		②生産力と経営力の強化による食料自給率と所得の向上
		③農商工連携、6次産業化などによる農林水産業の総合力の強化
	(3)産業を支える多彩な人々の活躍	
		①多様な就業機会の提供、県内への就職誘導
		②産業を支える人々の能力育成
		③女性や高齢者の就業環境の整備、就業機会の増加
2 多様な交流ネットワークの形成		
	(1)多様な地域との交流・連携と定住・二地域居住の推進	
		①県内における交流の促進
		②定住・二地域居住の推進
		③広域的な交流・連携の推進
	(2)国内外の観光と国際交流の拡大	
		①国内観光の推進
		②国際観光の推進
		③文化や経済などを通じた国際交流の促進
	(3)交流と連携強化のための基盤づくりと活用	
		①七つの生活圏、市町村間を結ぶ交通ネットワークの確保
		②多様な情報の受信・発信力の強化
		③空港や港湾を活用した広域的な交流と物流の推進

【柱Ⅱ】 安全と安心に支えられた「ふくしま」

1 だれもが健康で安心して暮らせる社会づくり		
	(1)生涯を通じた健康づくりの展開	
		①生活習慣病対策など健康づくりの推進
		②高齢者の介護予防
		③感染症の予防対策
	(2)安心できる地域医療体制の充実	
		①周産期、小児、救急医療の充実など地域医療の確保
		②命と健康を守る医療人の育成、医療の質の向上
	(3)高齢者や障がい者に対する多様な福祉サービスの充実	
		①高齢者を対象とした福祉サービスの充実
		②地域生活への移行や就労支援など障がい者の自立支援
2 さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現		
	(1)身の回りの安全と安心の確保	
		①各種犯罪の防止・被害者支援、交通安全の確保、児童虐待などの防止
		②生産から消費に至る一貫した食品の安全確保、県内農林水産物の安全性向上
		③消費生活などにおける安心の確保
	(2)災害など不測の事態に対する備えの充実	
		①地域における大機規模地震などの災害に備えた防災体制の充実、広域連携による迅速な救助・復興体制の構築
		②新型インフルエンザなどさまざまなリスクへの対応
		③原子力発電所、化学工場など事業所における安全確保対策
	(3)安全で安心な生活を支える社会基盤の提供	
		①自然災害に備えた公共施設等の整備
		②道路、河川など社会基盤の適切な整備と維持管理による安心の確保

【柱Ⅲ】 人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

1 支え合いの心が息づく社会の形成		
	(1)多様な人々がともに生きる社会の形成	
		①人権擁護、多文化共生、ユニバーサルデザインなどの推進
		②人にやさしいまちづくりの推進
	(2)思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現	
		①離職時における生活再建支援の充実
		②自殺防止のための総合対策
		③一人暮らしの高齢者など地域で孤立しがちな人々に対する支援ネットワークの確立
		④援助を必要とする子どもや家庭への支援
2 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現		
	(1)美しい自然環境の継承	
		①自然環境の保護と適正な利用
		②猪苗代湖をはじめとする豊かな水環境等の保全
		③良好な景観の形成
	(2)環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換	
		①廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用などの促進
		②産業、行政、学校、家庭における省資源・省エネルギーの取組みの推進
		③太陽光など再生可能エネルギーの開発・導入支援、関連産業の育成
		④森林環境の保全と森林資源の積極的な活用

第６章 地域別の重点施策

本章においては、七つの生活圏、それぞれの観点から各地域で重点的に推進する施策として、「地域別の重点施策」を示します。

県北地域

○個性が輝く地域活力の創出
○持続可能な農林業の確立
○地域の特色を生かした多彩な産業の振興
○安全で安心な生活を支える基盤の整備

県南地域

○地域の特性を生かした活力ある産業の振興
○地域の持続可能な発展を担い、自らの手で地域を牽引できる人づくり
○広域的連携による地域内外との交流の促進
○自然にあふれ人々がいきいきと心豊かに暮らせる源流の里づくり

南会津地域

○地域特性を生かした経済の活性化
○集落機能の維持に対する支援等
○地域資源を活用した交流人口の拡大
○地域の自然環境や歴史的景観の継承
○生活基盤の維持・整備による安全で安心な暮らしの確保

いわき地域

○多様な地域資源を生かした広域交流圏の形成
○創造的で活力のある産業の展開
○豊かな自然環境と調和した多彩で魅力ある生活圏の形成
○人と人とがつながる安全で安心な環境づくり

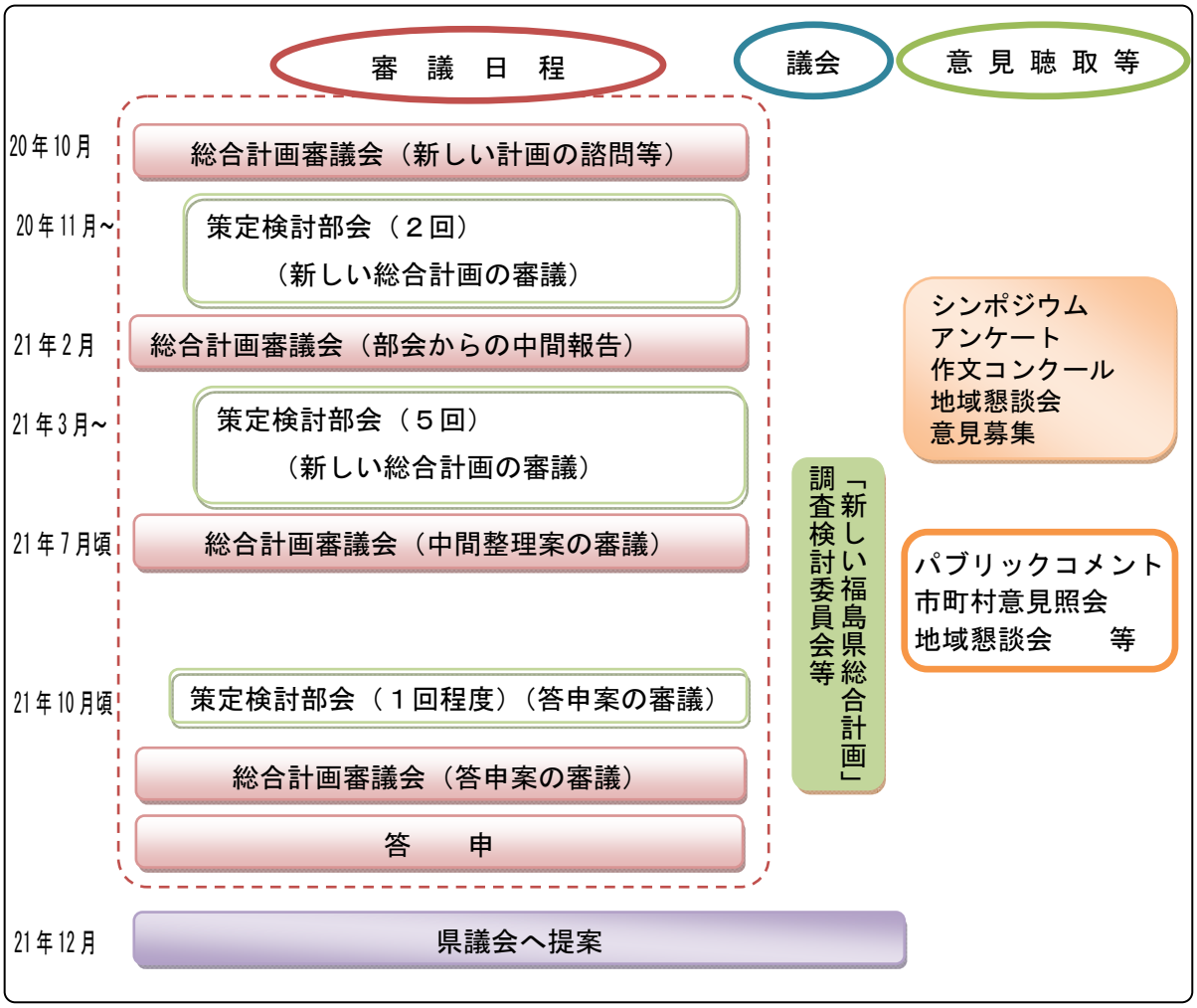
県中地域

○未来を拓き、地域の活力を支える産業の集積と高度化
○「福島空港」と地域資源を活用した交流人口の拡大
○「地域の宝」を生かした過疎・中山間地域の振興
○豊かな自然環境と調和のとれた地域社会の形成
○安全で安心に暮らせる地域社会の形成

会津地域

○地域づくりに貢献する新たな観光の推進
○地域特性を生かしたさまざまな交流の促進
○地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興
○自然環境、景観、文化の保全・継承と活用

相双地域

○多彩な地域資源の連携による広域交流圏の形成と人づくり
○電源立地地域の特性や物流基盤の整備効果を生かした産業の集積
○地域特性を生かした農林水産業等の振興と地域活性化
○安全で安心なくらしや交流を支える基盤の整備・充実

【参考】計画策定スケジュール